

アルジェリア政治・経済月例報告
(2018年2月)

平成30年3月
在アルジェリア日本国大使館

1 内政

- 3日、ウルドゥ・アッベスFLN党首は、党員にブーテフリカ大統領5選について言及することを禁じ、5日、昨年末に5選への調整を明言したトリバ国民議会議員を懲罰委員会委員に招集することを明言。
- 7日、国民評議会設立20周年式典が開催され、ベンサラ国民評議会議長、ウーヤヒヤ首相、その他閣僚が出席。
- 25日、シェリフ外務省報道官は、アムネスティ・インターナショナルの2017年年次レポートのアルジェリアの人権状況の現実につき客観的な観点から見ていない旨の声明を発表。
- 医療関係者及び教員のデモが継続。

2 外交

- 16日、ブーテフリカ大統領はアラブ・マグレブ連合(AMU)設立29周年に際し、エセブシ・チュニジア大統領、シラージュ・リビア首脳評議会代表、アブデル・アジズ・モーリタニア大統領、モハメッド6世モロッコ国王へそれぞれ宛てた祝電にて、戦略的選択かつ民衆の要求である同連合をアルジェリアは保持する旨述べた。
- 19日、ブーテフリカ大統領はマクロン仏大統領と電話会談。
- 19日、メサヘル外務大臣は訪露し、ラヴロフ・ロシア連邦外務大臣、パトルシェフ・ロシア連邦安全保障会議書記他と会談。
- 20日、ベラルーシをアルジェリア外相として初めて公式訪問したメサヘル外務大臣は、ルカシェンコ大統領を表敬。また、マケイ外相と会談し、貿易・投資分野における協力について協議した。両外相は科学技術協力合同委員会設立に係る覚書他に署名。
- 22～23日、メサヘル外務大臣はトルコを訪問し、エルドアン大統領を表敬し、チャヴシオール外務大臣と会談。
- 26～28日、エルドアン・トルコ大統領が国賓として来訪し、ブーテフリカ大統領、ベンサラ国民評議会議長、ウーヤヒヤ首相と会談。同首相と両国ビジネスフォーラムを共同主宰。

3 治安

- 1日、トレムセン県及びアイン・テムシェント県で軍はテログループ支援者3人を逮捕。
- 6日、バトナ県で軍はテログループ支援者1人を逮捕。
- 9日、ブイラ県で軍はテログループ支援者5人を逮捕。
- 9日、バトナ県で軍は銃器6丁、弾薬等の所持者1人を逮捕。
- 9日、ブイラ県で軍はテログループ支援者1人を逮捕。
- 14日、スキクダ県アザバ地区で軍は手配されていたテロリスト1人を逮捕。
- 14日、バトナ県で軍はテログループ支援者3人を逮捕。
- 16日、ジジェル県エル・ミリア地区で軍はテロリスト1人（F. ソフィアン）を殺害し、カラシニコフ小機関銃1丁、弾筒2個と弾薬多数を押収。
- 19日、ヘンシュラ、テベッサ及びエル・ウェッド各県で治安部隊はテログループの一扫と爆弾撤去に従事していたところ、テベッサ県で軍人5名、ヘンシュラ県で2名が爆弾の爆発により死亡。
- 20日、バトナ県、ジジェル県で軍はテログループ支援者5人を逮捕し、潜伏場所7か所を破壊。
- 24日、バトナ県で軍はテロリスト1人（I. ハナフィ）を逮捕するとともに、起爆装置等を有する爆弾製造場所を発見。
- 27日、ブイラ県カディリア地区で軍は、昨年12月に逮捕されたテロリスト（T. F（別称：ヤセル））の供述に基づき、爆発物の仕掛けられた携帯電話等の隠匿場所2か所を発見・破壊。

4 経済

- 3日、ベンメラディ商業大臣は851品目の輸入一時停止リストについて、3か月毎に評価を行う旨発表。
- 3日、アルジェリア経営者フォーラム（FCE）は各県ごとに代表者及びJIL' FCEの代表者を決定する選挙を実施。後者は40歳未満の若い企業者のためのFCEの下部組織。
- 5日～7日、マリーネリー世界銀行マグレブ・マルタ・中東・北アフリカ局長が当地を訪問し、ウーヤヒヤ首相、ラウイア財務大臣、ユースフィー産業・鉱業大臣、ハダッドFCE会長等と会談。
- 7日、ゼラルガ・マナル・グループ会長はテベッサを視察し、中国企業CETIC及びWENGFUとリン加工業における協力が間もなく合意する旨発表。
- 8日、カドゥール・ソナトラック社会長は同社の資本の一部や下部組織の当国民間企業又は外国企業への譲渡の可能性を否定し、今後も100%国営企業であり続けると明言。また同社が2018～2022年の間に560億ドルの投資を行い、計画の詳細は近日中に公表すると発表。

- 11日、フランス携帯電話会社WIKOは同国サコミ・エレクトロニクスとのパートナーシップで、同社にとってアフリカ大陸初となるスマートフォン生産工場を当国に建設する旨発表。最初の製品販売は3月初めの見込み。
- 12日、ルカル・アルジェリア中央銀行総裁は国民議会（APN）において2017年の財政状況について報告。その中で明らかにされた主な数字は以下の通り（括弧内は2016年のもの）：
 - ・ GDP成長率：2.2%（3.3%）
 - ・ インフレ率：5.6%（6.4%）
 - ・ 外貨準備残高：973億ドル（1140億ドル）
 - ・ 対ユーロ為替：-15.36%（+0.59%）
 - ・ 国際収支：▲233億ドル（▲263億ドル）
 - ・ 炭化水素輸出高：316億ドル（279億ドル）
 - ・ 炭化水素以外の輸出高：13億ドル（14億ドル）
- 13日、ルカル・アルジェリア中央銀行総裁は国民議会で資本のトレーサビリティを高めるための新たな通達を策定中であると発表。また、貨幣の安全性向上のためにまず100DA, 500DA, 1000DA札について新札を発行し、順次他の紙幣にも措置を拡大していく旨発言。
- 14日、ソナトラック社とイタリア・サイペム社との2017年5月以来の係争が合意に達したと報道。サイペム社がソナトラック社に対し2億ドル支払う。
- 15日、ベンメラディ商業大臣は2016～2017年に施行されていた輸入ライセンス制度により、合計で54億ドル（2016年：30億ドル、2017年：24億ドル）の輸入削減ができたと言。
- 20日、レブラル・セビタルグループ会長は、JETRO主催のアルジェリア投資環境ミッションが同社の子会社MFGのガラス工場を視察した際、トヨタがアルジェリアで自動車生産事業を行う場合には自らのグループがパートナーとなる意志があると発言。
- 23日、ギトゥーニ大臣は炭化水素法の改定に着手したことを表明。炭化水素分野を投資家にとって魅力的なものとするために税制面等の条文が見直される。一方、出資比率に関するいわゆる51/49規定は維持されるとも発言。最初の草案は6月に公表される見通し。
- 24日、全国労働者連盟（UGTA）の創設記念日（1956年）及び炭化水素国有化記念日（1971年）。各地で記念催事が執り行われるとともにブーテフリカ大統領が声明を発表し、労働者及び若者に経済の活性化と「強いアルジェリア」の建設に貢献するよう呼びかけ。
- 25日、アブデルクリム産業・鉱業省官房顧問は、自動車部品の下請産業を

活性化させるための法令が策定されたとラジオ番組で発表。また、自動車の生産・組立て事業の認可企業の数に40に限定されるものではないとも発言。

●25日、オラン県当局者がプジョーと同県が機械分野の上級技術者養成に係る協定を近々締結すると発表。本年9月にベティウアに新たな専門職業訓練校を開設。

●25日、国家統計局(ONS)は2018年1月までの12ヶ月間のインフレ率を5.2%と発表。

5 日本との関係

●4日、独立アルジェリア初の代表選手として1964年の東京オリンピックの体操競技に出場したヤマニ・オリンピック協会博物館長の叙勲伝達式が大使公邸にて挙行。

●15日、藤原大使離任レセプションが大使公邸にて開催され、各界から160名以上が出席。

●18～22日、JETRO主催のアルジェリア投資環境視察ミッションが当地を訪問。12の日系企業から約20名が参加。ユースフィー産業・鉱業大臣及びベンメラディ商業大臣を表敬。19日にエル・オラシーホテルで行われたセミナー及びB2B会合には100名を超えるアルジェリア企業関係者が参加。

●19日、デバガ元駐日アルジェリア大使の叙勲伝達式が大使公邸にて挙行。

●25日、小川和也特命全権大使が着任。同日、メサヘル外務大臣と面談し信任状副書を手交。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
2月1日	エジプト	メサヘル外務大臣	エルサレム問題に関するアラブ連盟閣僚級臨時会合及び中東和平アラブ・イニシアチブ委員会閣僚級会合に出席
2月6日	カタール	ギトウーニ・エネルギー大臣	アブドゥラー首相表敬、センチューリン・ガス輸出国フォーラム事務局長と会談
2月7日	サウジアラビア	ハメル警察庁長官・アフリカ警察機構総裁	アラブ安全保障ナーフ賞の理事会に出席

2月8日	チュニジア	ウーヤヒヤ首相	サキエト・シディ・ユーセフ空爆60周年記念式典に出席
2月9～10日	エジプト	ブハジャ国民議会議長	第3回アラブ議会・議会議長会議に出席
2月11～13日	アラブ首長国連邦	ユースフィー産業・鉱業大臣	第6回世界政府サミットに出席
2月13～14日	イタリア	ブアズギ農業・地方開発・漁業大臣	第41回国際農業開発基金総裁会議に出席
2月12～13日	エジプト	ギトウーニ・エネルギー大臣	第2回エジプト石油ショーに出席, モッラ・エジプト・エネルギー大臣及びマフロボ・南ア・エネルギー大臣と会談
2月15日	ドイツ	メサヘル外務大臣	ケーラー西サハラ担当国連特使と会談
2月16日	オーストリア	メサヘル外務大臣	天野 I A E A 事務局長と会談, 核不拡散条約の追加議定書に署名
2月18～19日	ロシア	メサヘル外務大臣	ラヴロフ外務大臣, パトルシェフ・ロシア連邦安全保障会議書記及びウマハノフ上院副議長と会談
2月19日	エジプト	メデルシ憲法評議会議長	第2回憲法裁判所・最高裁判所長会議に出席
2月20日	ベラルーシ	メサヘル外務大臣	マケイ外務大臣と会談, ミヤシンコヴィッチ国民議会議長及びルカシェンコ大統領を表敬
2月20～21日	サウジアラビア	ゼマリ労働・雇用・社会保障大臣	第4回イスラム諸国労働大臣会議に出席。サウジ, チュニジア各労相と会談
2月22～23日	トルコ	メサヘル外務大臣	チャヴシオール外務大臣と会談。カフラマン大国民議会議長及びエルドアン大統領を表敬

2月22～23日	メキシコ	ユースフィー産業・鉱業大臣	中小企業問題に関するOECD大臣会議に出席
2月27～28日	チュニジア	ギトゥーニ・エネルギー大臣	カドゥール・エネルギー大臣と二国間エネルギー大臣委員会を共同主宰
2月28～3月1日	チュニジア	エッダリア国民連帯・家族・女性大臣	法的身分所属に関するアラブ社会問題相会合に出席

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
1月29～2月2日	パレスチナ	アッサフ情報大臣	メディアに関する三つの覚書に署名。カウアーン報道大臣と会談
2月5～6日	世界銀行	マリーネリー・マグレブ・マルタ・中東・北アフリカ局長	ウーヤヒヤ首相を表敬。ラウイア財務大臣と会談
2月7～9日	フランス	ガターズ・フランス企業運動(MEDEF)会長	ウーヤヒヤ首相及びユースフィー産業・鉱業大臣を表敬。ハダッドFCE会長及びレブラブ・セヴィタル会長と会談
2月11日	米国	ロマノウスキー国務省テロ対策調整補佐官	メサヘル外務大臣及びハメル警察庁長官と会談
2月12日	ドイツ	ロマン・ドイツ連邦警察庁長官	ハメル警察庁長官及びダフムーン内務省次官と会談
2月13日	米国	パターソン国防総省アフリカ担当次官補	第8回米アルジェリア軍事対話でメサヘル外務大臣と会談
2月13日	フランス	ロジェル提督・大統領特別参謀部長	ガイド・サラ国防副大臣兼参謀総長と会談
2月26日	欧州連合	ウェインライト欧州警察機構長官	ハメル警察庁長官と会談
2月26～28日	トルコ	エルドアン大統領	ブーテフリカ大統領、ベンサラ国民評議会議長、

			ウーヤヒヤ首相と会談。 同首相と両国ビジネスフ ォーラムを共同主宰。
2月26～ 27日	パレスチナ	ラジュブ青年・スポーツ 評議会議長・パレスチナ サッカー協会会長・ファ タハ中央委員会事務局 長（少将）	ウーヤヒヤ首相を表敬。 アリ青年・スポーツ大臣 と会談

（了）